



新年家族例会



本日の例会プログラム

1. 開 会 点 鐘
2. 国 歌 斉 唱
3. ソ ン グ=奉仕の理想
4. 会長の時間
5. 1 月度のお祝い
6. 皆出席バッチの贈呈
7. 出席報告、ニコボックス発表、委員会報告、幹事報告
8. 閉 会 点 鐘

懇 親 会

司会 親睦委員会 松田幸博君

1. 開 宴 挨 拶・・・安藤正樹親睦委員長
2. ご夫人・60 期入会会員の紹介・・・後藤大作幹事
3. 乾 杯 発 声・・・波多野一夫直前会長
4. 木曾路 店主挨拶
5. アトラクション ビンゴゲーム
6. 次年度会長挨拶・・・田口義也会長エレクト
7. 手に手つないで
8. 締めの挨拶・・・鶴田 温副会長

年頭のご挨拶

林 彰会長

新年家族例会に、このように多くの方にご出席いただき、新しい年を皆様と迎えることが出来、心からお喜びを申し上げます。まずは、安全安心な日本の一年であって欲しい。米ハワイ州で緊急警報 米ハワイ州で13日朝、「弾道ミサイルの脅威がハワイに向かっている。ただちに避難場所を探せ。これは訓練ではない」という緊急警報が住民のスマートフォンに表示された。危険はないというメッセージは、警報から約40分後だった。私たちの一年は、毎日報道される北の妄動や発言から、来るかもしれない軍事衝突への不安です。昨年11月6日、東京迎賓館での首脳会談では、核・ミサイル開発の放棄を迫るため「攻撃するか、平和的に解決されるかは政権次第だ」とトランプ大統領の言葉です。最大の関心事でありながら何もできない私たちです。

「袈裟御前の生い立ち」 その7/8

さて、青邨画伯が中津川で過ごした青春時代は、私達の今の北朝鮮の核弾道ミサイルとは全く異なっていた。その明治という時代は、国挙げての戦争体制の中にあった。明治政府がとった政策は、女性に何を求め、何を課してきたのだろうか？ それは、女性を社会的な活動から隔離し、家としての良妻賢母を目標とする女子教育の方針を着々と固めていきます。

1890年(明治23年) 集会及政社法 女子は、政談演説会を聞いてはならない。

1894年(明治27年) 日清戦争

1898年(明治31年) 明治民法 家制度の制定。

1899年(明治32年) 女子教育の為の高等女学校令施行

1900年(明治33年) 治安警察法により女性の政治結社、政談集会への参加を禁止する。

1901年(明治34年) 廉造16歳で上京、梶田半古に入門する。

1902年(明治35年) 17歳で「袈裟御前」を制作する。日英同盟成立。

1904年(明治37年) 日露戦争

1907年(明治40年) 中津高等女学校が開校

1910年(明治43年) 袈裟御前 寄贈

明治の人口は3千7百万人程で、男女半分とすると、日本の国ために働ける者(男)は1千3百万人ほどでした。その時代の青少年にとって、その社会情勢を目の当たりに見て、軍国主義の考えを持って覇権が進むこと、早くも国のあり方を体感していきます。

『己には、何が出来るのか?』

800年も前の軍記物語の中からこのストーリーを画題にするのです。その思いがふつつつと湧いてきていたのでしょう。「袈裟御前」は、男性の運気をあげ、男性を社会的な成功へと導くあげまん女性です。その創作した若い年齢を知って、よくぞ描けたものだと思います。やがて、1910年(明治43年)25歳の時、父親の手元にあった作品は、中津高等女学校へ寄贈されるのでした。そして、この秋、遠山資料館で4週間にわたりお目見えとなりました。

先人の生きた戦時下の明治からのメッセージ、平和な安全な日本にしてほしいこの一年、その「袈裟御前」の生い立ちを記憶していきたいと思います。

例会日 木曜日

会 場 中津川商工会議所3F

事務所 中津川商工会議所3F

TEL : 0573-66-9933 FAX : 0573-66-8766

E-mail : n-rc@takenet.or.jp

HP : http://nakatsugawa-rc.jp

会 長 林 彰

幹 事 後藤 大作

会 報 三宅 正明

1月のお祝い

服部愛弘君 ご夫妻・・・8日

吉村和子君 〃・・・23日

皆出席表彰者

嶋崎兼之君・・・22年 嶋海伸明君・・・16年

麦島寛也君・・・14年 小川剛弘君・・・12年

桂川邦俊君・・・8年 安藤正樹君・・・4年

～12月21日～の記録

出席報告

ホームクラブ 出席率	43/69	62.31%
12/14 補正出席率	50/69	72.46%

会員総数74名、出席免除者5名

ニコボックス

★本日は社会奉仕委員会担当例会です。前野委員長お願いいたします。杉本会頭卓話よろしくお願い申し上げます。楽しみに拝聴をいたします。

会長・林 彰君、副会長・鶴田 温君、幹事・後藤大作君

★“60期半分終了”60期の1/2無事終了。会長・幹事さんお疲れ様でした。後半も力を抜かないで。今日の卓話は杉本会頭さん、静かに拝聴いたします。5人の孫たちの内、最後の内孫娘が結婚しましておじいさんの心境は嬉しいやら寂しいやらが錯綜してボーっとしてる。

伊藤 昇君

★杉本会頭本日の卓話たのしみです。よろしくお願いします

可児 力君

★杉本会頭の卓話拝聴します。 原 満夫君・糸井川 均君

★杉本会頭の卓話拝聴させて頂きます。 原 眞平君

★杉本さん中津川RCの仲間としてこの一年間を総括されての卓話楽しみにしています。 塚田 晃君

★社会奉仕委員会担当の卓話、楽しみにしております。中津川商工会議所杉本会頭、よろしくお願い申し上げます。 吉川義康君

★本日会員の皆様の前で卓話をさせて頂きます。30分間我慢をしてお付き合い下さい。 杉本 潤君

★杉本会頭、本日の卓話よろしくお願い致します。

勝野安和君・嶋海伸明君・波多野一夫君

★杉本会頭本日の卓話楽しみにしています。宜しくお願いします。 田口義也君

★今年最後の例会を担当させていただきます。杉本会頭のお話を楽しみにいたしております。本日、お忙しい中本当にありがとうございます。

前野求重君・嶋崎兼之君・間龍一郎君・若森まり子君

★いつもお世話になります。杉本会頭本日の卓話楽しみにしております。 齊藤 隆君・桂川邦俊君

★杉本会頭の卓話を楽しみに参加しました！

佐藤好哉君・加藤景司君

★先日の年次総会にて、次年度の理事のご承認を頂きありがとうございました。力不足ですが一生懸命勤めさせていただきます。杉本会頭の卓話、しっかり拝聴させていただきます。 鈴木康之君

本日のご申告 52.0ポイント(累計722.5ポイント)

ロータリーレートのお知らせ

2018年1月は1ドル=114円になります。(12月は112円)



出席報告

可児 力君

ニコボックス発表

谷口勇敬君

会長の時間

林 彰会長

卓話者紹介

前野求重君

卓話「ロータリーの考える社会奉仕」
中津川商工会議所 会頭 杉本 潤氏

中津川RCのメンバーでもある杉本会頭より「ロータリーの考える社会奉仕」というテーマで卓話をいただきました。企業経営者という立場から企業のコンプライアンスの順守がいかに大切であるか、また公益資本主義についての話題まで、幅広くお話していただきました。

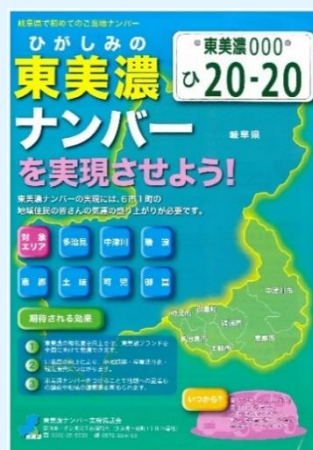


我々企業経営者の活動そのものが社会奉仕であり、企業活動を通じて得た利益から納税という形で社会に還元する。よって、ロータリーの皆さんの活動そのものが奉仕であると考えている。社会奉仕を考えると、社会貢献とはどう違うのか。

社会奉仕とは利益、社会の福祉に対して報酬を頂かないものであり、報酬を頂く社会貢献とは異なる。奉仕を行うには自分の資源を無償で提供する、そのためには時間的にも心の面でも経済的にも健康面でも余裕がないといけない。我々経営者はそうしたことも十分に考える必要がある。また昨今は企業による不正会計問題、データ改ざん問題など多く見られるが、その背景には現在の株主資本主義の弊害があるのではないかと。そうした反省からも、かつての日本的経営でもあった公共資本主義という考えに立った経営が必要であると考えている。是非、ロータリーのメンバーの方にもそうした経営を考えてほしい。

東美濃ナンバーについて

卓話の冒頭、杉本会頭より「東美濃ナンバー」について、これからの中津川市はリニア駅にふさわしい街をつくらなければならない。東濃一体となって駅を活用することを考えたい。そのためには各商工会議所が一体感を持つことが重要であり、その一つの動機づけとして東美濃ナンバーの推進に至ったとの説明がありました。



12月度 定例理事会

2017年12月21日(木)商工会議所2階小会議室にて 13:35～

出席者: 林・波多野・鶴田・塚田・田口・可児・安藤・佐藤・前野

桂川・志津・後藤・三宅

会長挨拶

議題

- 1) 12月～2月の例会プログラムについて…例会運営委員会
12月28日＝クラブフォーラム神戸館 11:30～…林 彰会長
1月4日→5日(金) 消防出初式に移動 文化会館 9:00～
11日→10日(火) 十日市に移動 西宮神社 9:00～
18日＝新年家族会例会「木曽路」18:30…親睦委員会担当
25日＝例会前に健康診断 11:30～…職業奉仕委員会担当
普通例会 卓話 …情報・研修委員会担当
丸山 輝城 P P テーマ「もったいない」
2月1日→4日(日)六斎市に移動 本町六斎市本部 9:00～
8日＝普通例会 卓話 吉村庸輔委員長 …財団担当委員会担当
15日＝普通例会 卓話 土屋大二郎副委員長…例会運営委員会担当
22日＝普通例会 卓話 …会員増強委員会担当 ☆承認
- 2) プログラムの変更について …例会運営委員会担当
4月5日(木) 例会案内の変更(活動計画書 P15)
青少年育成事業 → 卓話 ☆承認
- 3) 1月・2月度定例理事会について …幹事
1月25日(木)例会終了後 2F小会議室
2月22日(木)例会終了後 2F小会議室 ☆承認
- 4) 第3回 IDM開催について …IDM委員会
2月22日(木) 勝宗 18:30～ ☆承認
- 5) 「年次総会・忘年会」決算について …親睦委員会担当
12月14日(木)「長多喜」18:30～ 参加者51名

会員47名、ゴールド会員3名、事務局1名 ☆承認

- 6) 2018～2019年地区出向者について …幹事
「2018～2019年第2630地区補助金小委員会委員」

波多野一夫君 ☆承認

報告事項 …幹事

- ① 中津川四クラブ会長幹事懇談会(12/5)にて決定事項
・次回中津川四クラブゴルフコンペ(ホスト:中津川CRC)
4月22日(日)ユエグリーン中津川倶楽部
・次回中津川四クラブ会長幹事懇談会(ホスト:中津川CRC)
6月12日(火)18:00～
- ② 中津川商工会議所 新年懇談会1月12日(金)
「中津川商工会議所3F」16:00～会長参加
- ③ (一社)青年会議所新年会
1月17日(水)「中津川商工会議所3F」17:10～会長参加

- ④ 会員増強セミナー

1月20日(土) 勝野会員増強委員長、後藤幹事出席

- ⑤ 事務局年末年始休暇 12月29日(金)～1月5日(金)

～12月28日～の記録 クラブフォーラム

出席報告

ホームクラブ 出席率	44/69	63.76%
12/21 補正出席率	56/69	81.15%

会員総数74名、出席免除者5名

メッセージ

小倉忠雄君、丸山充信君、立木亮治君(中津川CRC)

～1月5日～の記録 消防出初式参加

出席報告

ホームクラブ 出席率	69/69	100%
12/28 補正出席率	44/69	63.76%

会員総数74名、出席免除者5名



～1月11日～の記録 十日市参加

出席報告

ホームクラブ 出席率	69/69	100%
1/5 補正出席率	69/69	100%

会員総数74名、出席免除者5名

メッセージ

小倉忠雄君、堀 務君、小木曾輝栄君(中津川CRC)



上期ニコボックス上位ベスト10 (単位:ポイント)

1位 林 彰 君 80	6位 鈴木力君・田口義也君 27
2位 鶴田 温君 56	7位 波多野一夫 25.5
3位 後藤大作君 32	8位 可児 力君 24
4位 鳴海伸明君 31	9位 桂川邦俊君 20
5位 伊藤 昇君 29	10位 勝野安和君 25



今後の例会予定

- 1月25日＝例会前に健康診断 (11:30～12:20)
 普通例会 / 職業奉仕委員会担当
 丸山輝城PP 卓話 / 情報・研修委員会担当
 テーマ「もったいない」
※1月度定例理事会 13:35～
- 2月 1日→4日(日) 六斎市に移動 本町六斎市本部
 にて9:00点鐘
 8日＝普通例会 卓話 吉村 庸輔委員長
 / 財団担当委員会担当
 15日＝普通例会 卓話 土屋大二郎副委員長
 / 例会運営委員会担当
 22日＝普通例会 卓話 / 会員増強委員会担当
※2月度定例理事会 13:35～

行事予定

- ◎1月12日(金) 中津川商工会議所 新年懇談会
 中津川商工会議所 3F 16:00～
- ◎1月17日(水) (一社) 中津川青年会議所 新年会
 中津川商工会議所 3F 17:00～
- ◎1月20日(土) 会員増強セミナー
 岐阜グランドホテル 10:00～
- ◎2月25日(日) 中津川四クラブ親睦ゴルフコンペ
 ユーグリーン中津川ゴルフ倶楽部
 (ホスト: 中津川RC)
- ◎4月22日(日) 中津川四クラブ親睦ゴルフコンペ
 ユーグリーン中津川ゴルフ倶楽部
 (ホスト: 中津川CRC)

他クラブのご案内

- 中津川センター＝2月12日(月) 建国記念の日振替休日
 2月19日(月) 創立記念夜間例会 更科18:30
 2月26日(月) 企業訪問 ヤマザキマザック株
 (時間: 調整中)
- 恵那＝2月13日(火) 10:00点鐘 企業訪問
 (株) 銀の森コーポレーション
- 瑞浪＝1月21日(日) 点鐘9:30※19日(金) からの移動
 瑞浪市民体育館 瑞浪少年柔道大会助成及び会場にて
 ロータリーデー開催の為
- 多治見バースト＝1月30日(火) 12:45点鐘 オースタット国際
 ホテル多治見 移動例会の為
 2月13日(火) 12:45点鐘 オースタット国際
 ホテル多治見 移動例会の為

弁護士の法律小喃

弁護士 山本 亮

第4回 喧嘩両成敗

子供の喧嘩から企業同士の訴訟まで、事の大小を問わず紛争を解決して平和な状態に戻すということは非常に難しい問題です。単に現在目の前にある問題を法律や規則に当てはめて機械的に結論を出すことは簡単なのですが、これまでのいきさつがどうだったか、お互いの力関係はどうか、関係者への影響はどうか、今この紛争が終わっても後々別の局面で仕返しをしてくる可能性はないか、といったもろもろの事情への配慮を怠ると、当事者に強い不満が残残り、新たな紛争の火種になります。こういった問題を一挙に解決しようとしたのがよく知られた「喧嘩両成敗」です。この法理は室町時代から戦国時代にかけて形成されたもので、例えば戦国大名今川氏(駿河国)の分国法(各大名が制定した領内統治のための法)である「今川かな目録」では、「喧嘩におよぶ輩(ともがら)、理非を論ぜず、両方共に死罪に行ふべきなり。」(喧嘩をした者は、理由の如何を問わず両者を死罪にする)とされています。このような世界的にも珍しい法ができた背景には、室町時代を生きた人々の、現代では考えられないくらいの強烈な名誉意識と集団への帰属意識、人命の軽視(他人だけでなく自分も含めて)がありました。

例えば、永享4年(1432年)に金閣寺と北野天満宮の間に死人が出る乱闘騒ぎがあり、あわや全面戦争という事態に至りましたが、これは、金閣寺の僧侶が立小便をしていたのを北野天満宮の社僧(神社に使える僧侶)が笑ったという誠に些細なことがきっかけでした。

この他にも、ある下女が、注文した品物ができていないことに対して店の主人に悪口を吐いたところ、店の主人が激怒し、下女の髪を切り落としました。これに激怒した下女の主人が店の主人と刺し違える刃傷沙汰になったにとどまらず、双方のバックについていた貴族や豪族の集団が市街戦を演じて多数の死者を出すに至った事例もあります(清水克行『喧嘩両成敗の誕生』)。

疫病、戦乱、天災による飢饉などで命が容易に失われる社会にあっては人命が失われることへの抵抗感は低く、些細なトラブルから死人が出ることは日常茶飯事でした。また、当事者同士の問題にそれぞれが属している集団が介入するので容易に紛争が大規模なものになりました。そして、生じた被害が集団の間で釣り合わない場合、それが新たな争いのもとになって復讐の連鎖が容易に起こる状況でした。

このため、どちらが正しいか、ということを棚上げしてでも復讐の連鎖を止めてこれ以上の死人が出ないようにする必要があったので、理由を問わず喧嘩をした双方を処罰する喧嘩両成敗が法として確立されました。

喧嘩両成敗は、江戸幕府の権力が確立され、安定した裁判制度が確立されるにしたがってその適用の範囲を狭めていきましたが、紛争にはお互いそれなりに非や落ち度があると考える日本人の心性の中に生きているように思われます。